和歌山県立
日高高等学校

SGH通信
第１４号

２０１８年１１月２２日

インドネシア研修 その１

SGH 海外研修　防災

2018 年 10 月 14 日 ～ 20 日

今年度は２年生１名、１年生６名の計7名が参加しました。夏休みから始まった事前研修では、防災についてはもちろん、国際機関やその支援活動、インドネシア語や交流のためのパフォーマンスの準備に至るまで熱心に取り組みました。現地ＪＩＣＡを訪問した際には質問が次から次へと飛び出したため、職員の方も予定時間を延長して対応してくださるなど、実りの多い研修となりました。

マダニア高校ではお互いの「Disaster Management（災害への取組）」について発表し合いました。日高からは２年生「総学・防災班」のまとめを中心に報告しています。共有してきた課題については全体に報告後、「総学」および「次年度の海外研修」に繋げていく予定です。

主な研修内容

10/14　出国
10/15　JICA 研修（日本の支援）
　　ERIA 研修（ｱｼﾞｱ経済・英語講義）
10/16　マダニア高校との協働学修
10/17　市内研修（宗教の多様性）
10/18　世界遺産の被災と復興研修
10/19　市内研修（ｲﾝﾄﾞﾈｼｱの歴史）
10/20　帰国

英語講義

報告① ＪＩＣＡ研修・ＥＲＩＡ研修

ＪＩＣＡとＥＲＩＡを訪問して、インドネシアの人々の良いところや生活面の課題など、多くを学びました。インドネシアの人々は「昨日より今日、今日より明日」という考えをもっており、常に前向きに、未来の幸せを信じているということを伺いました。近年の日本人にはあまり見られないこの前向きな考え方は、日頃の生活や仕事で意欲を高める効果があると思います。やはりインドネシアはこれから大きな発展の見込みがある国だと納得しました。

一方で、自然災害の多い国であるのにも関わらず、防災対策がしっかりされていないという現状があります。それは、今日明日の生活費でいっぱいいっぱいで、いつ起こるか分からない災害のためにお金と時間を使う余裕のない人が多いからだということでした。質問する中でＨＯＰＥという日本の団体の活動や、「その人の生活を支えながら防災意識を高めていく」というすばらしい考え方も知ることができ、本当に多くのことを学べた研修となりました。

１年６組　源地菜月

JICA 研修

ERIA 研修